

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力のお願ひ

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

<p>腹腔鏡下胆嚢摘出術における手術難易度分類の研究</p>
<p>1. 研究の対象および研究対象期間</p> <p>昭和大学病院において2013年1月から2019年3月までに胆嚢摘出術を施行された患者さんを対象とします。</p>
<p>2. 研究目的・方法</p> <p>1991年に胆嚢摘出術に腹腔鏡下胆嚢摘出術が行われて以来胆嚢良性疾患に対する腹腔鏡下手術は標準術式となっています。しかしながら炎症の度合いや解剖学的困難性により、手術難易度は様々です。そのため術前に難易度を予測する因子が必要ですが、現在までに発表されている論文では、煩雑な物が多いです。そのため当科では2013年から簡便な難易度分類を用いてきました。その有用性を検討します。「医学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会」承認後、昭和大学病院病院長の研究実施許可を得てから2020年3月までを研究期間とします。</p>
<p>3. 研究に用いる試料・情報の種類</p> <p>データは診療録上のデータのみを用い、患者背景（身長、体重、年齢など）や、臨床検査項目（MRI、超音波画像、血算・生化学・凝固検査を含む採血データ）、主要な検討事項は手術記録による難易度との相関性、副次的な検討事項は手術による結果パラメータ、すなわち出血量、手術時間、在院日数などを対象とします。</p>
<p>4. お問い合わせ先</p> <p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>所属：医学部外科学講座消化器・一般外科学部門 住所：東京都品川区旗の台1-5-8 研究責任者：平井 隆仁</p> <p>氏名：平井 隆仁 電話番号：03-3784-8000</p>